

「改訂第5版 救急診療指針」訂正のお知らせ

ご好評をいただいております『[改訂第5版 救急診療指針](#)』（監修：日本救急医学会／ISBN：978-4-89269-945-0）におきまして、下記の通り訂正箇所がございますので、お知らせ申し上げます。

お客様には多大なご迷惑をお掛けいたしましたこと、伏してお詫び申し上げます。

【訂正箇所】

< 5版3刷にて訂正済み分 >

p. 54 右段・下から8行目

誤「・プロプラノロール」

正「・プロプラノロール塩酸塩（成人）」

p. 54 右段・下から5行目

誤「・塩酸プロプラノロール」

正「・プロプラノロール塩酸塩（小児）」

p. 55 左段・上から13行目

誤「極量は 17 mg/kg，または QRS 幅延長 $\geq 50\%$ で中止。」

正「総投与量 17 mg/kg に達するか，あるいは QRS 幅延長 $> 50\%$ で中止。なお，不整脈が消失する，あるいは低血圧が出現する場合も中止する。」

p. 659 左段・上から6行目

誤「用量」

正「容量」

p. 659 右段・下から6行目

誤「腹腔内容量の変化に対する IAP の変化で表す。」

正「IAP の変化に対する腹腔内容量の変化で表す。」

< 5 版 2 刷にて訂正済み分 >

p.409「血液・免疫系疾患」 右段・上から 14 行目

誤「ADAMTS13 活性が 5～10%未満に低下していれば TTP と診断され」

正「ADAMTS13 活性が 10%未満に低下していれば TTP と診断され」

p.410「血液・免疫系疾患」 図Ⅷ-6-2「TMA の鑑別診断 (TTP, aHUS, STEC-HUS)」
内

左列下から 2 番目のボックス

誤「ADAMTS13 活性が 5%以下」

正「ADAMTS13 活性が 10%未満」

中列下から 2 番目のボックス

誤「ADAMTS13 活性が 5%超」

正「ADAMTS13 活性が 10%以上」

(2018 年 11 月 9 日)

p.247「減張切開」 右段・上から 12 行目

誤「wick catheter」

正「wick catheter」

p.247「減張切開」 右段・上から 19 行目

誤「ピンクリップテスト」

正「ピンブリックテスト」

(2018 年 10 月 5 日)

p.196-197「緊急ペーシング」 p.196 右段・最終行から p.197 はじめの 2 行

誤「いずれも設定閾値の再調整を行い、オーバーセンシングでは設定閾値を低下させ、アンダーセンシングでは設定閾値を上昇させる。」

正「いずれも設定閾値の再調整を行い、オーバーセンシングでは感度を鈍くするためにペースメーカーのセンシング閾値を上げ、アンダーセンシングでは感度を鋭くするためにペースメーカーのセンシング閾値を下げる。」

(2018 年 9 月 5 日)

p.235「腹腔穿刺・腹腔洗浄」 右段上「表Ⅵ-2-M1」

表Ⅵ-2-M1 内の「腸管損傷」の判定基準表記に誤り。

誤「腹腔内出血が陰性の場合 WBC≧RBC/150」

正「腹腔内出血が陽性の場合 WBC≧RBC/150」

p.672「急性肝不全」 右段・下から2行目

誤「遅発性肝不全 (late onset acute liver failure ; LOHF)」

正「遅発性肝不全 (late onset hepatic failure ; LOHF)」

(2018年7月9日)

p.208「大動脈遮断用バルーンカテーテル挿入」 左段上「図VI-2-F2」

図VI-2-F2内のaortic Zoneの表記に誤り。「aortic Zone II」と「aortic Zone III」の位置が逆になっている。

誤「aortic Zone II」「aortic Zone III」

↓

↓

正「aortic Zone III」「aortic Zone II」

※本文中 (p.207, 右段下から9行目) の説明書きが正しい。

(2018年6月21日)

p.151「超音波検査」 右段・下から5行目

誤「循環血液量が減少していれば, 下大静脈径の呼吸性変動は低下する。」

正「循環血液量が増加していれば, 下大静脈径の呼吸性変動は低下する。」

p.292「胸痛」 左段・下から2行目

誤「12誘導心電図でII誘導以上に」

正「12誘導心電図で2誘導以上に」

(2018年5月25日)

p.529「中毒各論」 右段・上から12行目

誤「炭酸水素ナトリウムの投与で尿のアルカリ化を図る。」

正「炭酸水素ナトリウムの投与で血液のアルカリ化を図る。」

(2018年4月17日)

【更新履歴】

2021年12月10日：3刷にて訂正済み分について揭示

2018年11月9日：p.409「血液・免疫系疾患」, p.410「血液・免疫系疾患」 図VIII-6-2「TMAの鑑別診断 (TTP, aHUS, STEC-HUS)」内の訂正について揭示

2018年10月5日：p.247「減張切開」の誤記について揭示

2018 年 9 月 5 日：p.196-197「緊急ペーシング」の訂正について掲示

2018 年 7 月 9 日：p.235「腹腔穿刺・腹腔洗浄」 右段上「表VI-2-M1」内の「腸管損傷」
の判定基準表記の訂正, p.672「急性肝不全」の訂正について掲示

2018 年 6 月 21 日：p.208「大動脈遮断用バルーンカテーテル挿入」 左段上「図VI-2-F2」
訂正について掲示

2018 年 5 月 25 日：p.151「超音波検査」, p.292「胸痛」の訂正について掲示

2018 年 4 月 17 日：p.529「中毒各論」の訂正について掲示